

なばりの小学生・中学生が参加できるよ ばいっ子会議

ばいっ子会議とは

市内の小学生と中学生があつまって、自分の住んでいる地域や学校のことを話し、名張市がすてきなまちになるための意見を出し合っています。

ばりっ子会議は、名張市とこの事業の委託先であるMIK運動推進委員会が運営し、皇学館大学の学生、名張Kidsサポータークラブの協力により実施されています。

ばいっ子モール

ばりっ子会議の中で、「こんなお店ができたらいいな（あったらいいな）」という子どもたちの声からはじまりリアルお店屋さんごっこ。看板づくり、商品の準備、当日の運営を話し合いみんなで協力して行います。お店では、ばりっ子モールだけで使用できる「バリ」というお金で買い物ができます。ゲーム・カフェ・おばけ屋敷や、ものづくり教室などお店は毎年ばりっ子会議で決めます。



MIK 運動推進委員会とは

名張市PTA連合会創立50周年で提唱された子どもたちをよく『見て』いふべきことは『言って』子どもたちの言うことをよく『聞いて』ということをおとなとして心がけていこうという運動を進めている団体です。

名張市PTA連合会役員OBにより運営されています。

「今年度は11月23日（土・祝）
 午後1時からと午後2時30分から
 武道交流館いきいきで開催します。
 ぜひ遊びにきてください。
 （事前に申し込みが必要です）」

ばいっ子会議に参加するには

名張 Kids サポータークラブとは

小中高生を含む若者が、ボランティア活動をするために組織された団体です。主に、子どもたちが参加するイベントや事業のサポートを行っており、事業が円滑に進むように、おとなと子どもをつなぐパイプ役となっています。

毎年5月ごろに会議に参加できる人を募集します。
 小学1年生から中学3年生まで40名ほど。
 6月から月1回あつまっているいろいろなことについて話し合ったり、これから進めていく活動について、一緒に考えたりします。
 きょうだい、友達同士、ひとりでの参加も大丈夫です。
 学校に案内チラシが配られますので申し込みをしてください。